

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム なごみ 水巻

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 03 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	現在、制度活用の利用者がいないので、外部研修に参加しておらず、今後、利用者にとって必要な制度として研修会に職員を参加させ、制度を理解してもらい、制度の重要性を認識していく。	資料やパンフレットを用意し、研修で学んだ知識を勉強会で職員全員に説明し、利用者や家族が必要な時には、いつでも説明できる体制を整えていく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取組み	職員の経験年数や習熟度で、介護技術に差があるので、どの職員が利用者に介護サービスを提供しても、変わらないレベルのサービスが出来るように努力していく。	職員の意欲を向上させるための、研修会に参加して、事業所外の様子や情報を吸収して、人間的にも成長し介護力を身に着けて、利用者の満足に繋がるケアの実践に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。